

「五葉山の魅力」

五葉山自然俱樂部
創立10周年に寄せて

⑬

先輩たちが練り上げ、実施してきた上有住小学校の伝統行事「親子五葉山登山」。毎年のことであるが、企画・運営するPTA役員、参加対象である児童、その保護者が異なるため、前年度の実施計画、実施結果、児童や保護者の感想、意見を踏まえた登山計画が検討される。登山日程、コース、案内者、そして事前踏査の日程などである。

恒例の行事ではあるが、企画・運営する方も登山する方も初めての方が多く、いつも入念な準備が行われる。それでも毎年毎年「五葉山登山」では、「来年は登山か」と伝統行事ではあるが、固定化され「流れ」として参加してしまう意識も感じられるようになってきた。

「知識は本の中に、知恵は生活の中に」と、ある諺(ことわざ)にある。私たちは恵まれた自然環境を生かし、知恵をつける教育とは何かを考えたい。導き出した答えは「自然を直接体験することだった。」

当時の上有住小学校には着任二年目を迎えた中嶋敬治さんがいた。五葉山の麓(ふもと)大船渡市日頃市町に生まれ、育ち、五葉山には愛着も思い入れも、そして関わりも深い。また、大学で生物を専攻し、自然観察会などへの参加経験から花に詳しい白澤澄江先生が

いた。

さらには、「五葉山森林浴まるごと体験」を企画し、運営してきたPTA会員の千葉修悦さん(五葉山自然俱樂部事務局長)がいる。大船渡市林署さんが献身的、意欲的に対応していただいたことも忘れられない。

内容とした「上有住森林愛護少年団自然観察会」が五葉山麓森林公園で開催された。

平成七年六月二十五日、暑い夏の日であった。五、六年生とその保護者、先生方、大船渡市林署の方々、住田町役場林政課の職員、総勢百三十一名

上有住小「自然観察会」

住田町上有住

村上 薫

事前準備として、独自のインストラクター勉強会や現地での下見を実施、さらには「五葉山森林浴まるごと体験」のレギュラーの森林インストラクターの派遣、ブナの苗木二百本の提供。

計画案の検討に次ぐ検討、四度にわたる事前踏査。十分な検討と吟味した下見のもとに自然観察会(森林浴)、焼き肉の集い、ブナの記念植樹を

が参加した。PTA会長を団長に、天嶽、坂本、八日町、恵山、両向の五地区ごとに班編成した。「地区」を活動母体に据えることによって、会員相互の絆(きずな)や信頼関係を基礎にでき、はじめての野外行事を意味あるものにした。

保護者の方々からの感想である。「木の名前など専門家からじっくり聞いた。これが本当の名実ともの森林愛護少年団活動であることを教えられた」「他に例を見ない非常にいい企画だった。継続して実施することをお願いしたい」

子どもたちも楽しかった自然観察会を伝える。「小さなブナの苗木を植えました。じょうぶに育ってほしい。暑くて大変だったけれど、とっても楽しかった自然観察会

子どもたちも楽しかった自然観察会を伝える。「小さなブナの苗木を植えました。じょうぶに育ってほしい。暑くて大変だったけれど、とっても楽しかった自然観察会

この自然観察会を貫くテーマ「自然に親しみ、よりよい環境づくりをめざす子どもの育成」は、多くの人たちとの出会い、協力と支援、参加と感動により展開され、今日的地球規模の課題である地球温暖化に伴う環境教育の重要性が言われる

中で、大きな意味合いを持っている。【執筆者プロフィール】住田町上有住在住、五十六歳。平成七年の上有住小学校PTA会長時代、「上有住森林愛護少年団自然観察会」を企画、実施。「八日町市日」や「上有住地区名所旧跡マツプツア」などを主体的に実施する上有住地区計画推進協議会の会長。すみだ「森の案内人」として種山ヶ原、五葉山や五葉山麓の魅力を伝えて



「木の名前など専門家からじっくり聞いた。これが本当の名実ともの森林愛護少年団活動であることを教えられた」「他に例を見ない非常にいい企画だった。継続して実施することをお願いしたい」

子どもたちも楽しかった自然観察会を伝える。「小さなブナの苗木を植えました。じょうぶに育ってほしい。暑くて大変だったけれど、とっても楽しかった自然観察会

子どもたちも楽しかった自然観察会を伝える。「小さなブナの苗木を植えました。じょうぶに育ってほしい。暑くて大変だったけれど、とっても楽しかった自然観察会



親子五葉山登山のひとコマ。森林公園駐車場に到着し、子どもや保護者の胸の内には「ワクワク時間」が始まっている